

のです。

**政策調整部**

**問** 市民主体のまちづくりの推進として、地域まちづくり協議会のあり方、目的と自治会との関係は。

**答** 地域まちづくり協議会は、地域の大きな入れ物であり、特に自治会への加入が少ない所に必要となります。今後、地域福祉や防災を含めて進めていきます。

**市民環境部**

**問** コミュニティバスの今後のあり方と、デマンド運行は。

**答** 甲賀病院へのデマンドタクシーの検討として、大津市志賀地域のデマンドタクシー事業を視察しました。地元タクシー事業者や、陸運局との調整の厳しさがあるとの課題を認識のうえ、今後検討していきます。

**健康福祉部**

**問** 肺がん検診以外のがん検診の無料受診者の対象年齢を、65歳以上から70歳以上とした考え方は。

**答** 検診率を上げること、医療費の伸びを緩やかにすることの基本を前提としています。一定の受益者負担をしていかないと、施策の継続性が厳しいとの判断のもとで、無料受診者の対象年齢を上げました。

**問** 議会から同じような施策の集約を提言していたが。

**答** 教育委員会の親子プレイステーション事業と、子育て支援センターの保育士の巡回事業を組み合わせた形で、みつばち事業として、リニューアル実施します。

**教育部**

**問** 甲西中学校改築は。仮設校舎を建てずに



計画中の（仮称）市民産業交流促進施設

**賛成多数で可決**

行うため、平成28、29年度の改築工事となり、体育館、格技場は改築せず、南側に新校舎を建設し、北側をつぶして校庭、プール、駐車場となります。

**建設経済部**

**問** 本市の農業振興は。

**答**（仮称）市民産業交流促進施設を核として、観光農園などの計画をし、市外からも募集を募り、地元農業者を含め、物産の提供が図れるようにと考えています。また、担い手確保や、人、農地プランを推進し、耕作放棄地の利活用も図ります。

**国民健康保険特別会計予算**

平成27年度決算見込みは、58億9982万7千円の歳出で、繰越金2300万円となり、45%の医療費の伸びとなりました。平成28年度も45%の伸びと見込んでの予算編成とし、今後の伸び率によっては、基金2億3000万円からの取り崩しも考慮している。との説明でした。

**問** 運営における基金の適正化は。

**答** 平成30年度の県での国保広域化に向けて、各市町の保険料を統一にするかの議論の中で、基金のあり方も議論されています。

**問** 特定保健指導事業の取り組みは。

**答** 平成14年度から取り組んできた健康貯金教室を見直し、対象者を広げ参加しやすい仕組みとしていきます。

**主な意見**

収納率向上のさらなる取り組みと、広域化に向けての準備をとる意見がありました。また反対の立場から、国保加入者は、高齢者や無職者などの低所得者が多く、保険税引き上げは大きな負担となり、滞納者が増えている状況で、一般会計からの繰入も減額になっている。との反対意見がありました。

**賛成多数で可決**

**介護保険特別会計予算**  
増え続ける要介護認定者が住み慣れた地域で在宅生活が継続できるように、安心医療ネットワークを立ち上げて取りなどの体制づくりを進めています。さらに、市内8つの訪問看護ステーションとの連携も進めていきますと説明がありました。

**主な意見**

介護サービス費は横ばいですが、高齢者や介護認定者も増え続けています。平成29年度からの地域の共助意識を巻き込んだ新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」をしっかりと準備し構築を、との意見や、住み慣れた地域で終末期を迎えられるよう、ケアシステム充実をと意見がありました。

**賛成多数で可決**

また、反対の立場から、高齢化率が高まるなか、サービス給付が増えれば、比例して保険料が上がっていく仕組みで、高齢者の負担能力を超えていくこの制度に反対との意見がありました。

